

第7回 芳賀町ジェンダー川柳コンクール

主催：芳賀町女性団体連絡協議会

男女が喜びも責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる社会に向け理解や関心を高める事を目的として募集しているジェンダー川柳コンクール。

今年の応募数、667句でした。本団体での予備審査の後、梨の実吟社・地域公民館長連絡協議会・PTA協議会・教育委員会の方々にご協力いただき、2月1日(金)に本審査を実施しました。

入賞作品

最優秀賞

ジャムのふた ママにあけてと パパが言う

芳賀東小学校五年 関 心結

優秀賞

・父の日に あげたエプロン にあってる
・「おれやるよ」 父の言葉に 母笑顔

芳賀北小学校四年 船生 咲

芳賀中学校一年 大森 汐葉

佳作

・女子なのに 男子なのにと 人なのに
・せいぜいで あきらめないで すきなこと
・父そうじ モグモグタイムの 母の側
・ママ料理 わたしのかみを しばるパパ
・父母の 笑顔あふれる 台所
・認め合い 互い違いを 編んでゆく
・女子力は 男にあったら ダメですか
・女性初 なぜ女性だけ 初つける？
・偏見は 知らずに人を 傷つける

芳賀東小学校四年 五味淵 凜

芳賀東小学校四年 小口 陽向

芳賀東小学校六年 備前 颯月

芳賀北小学校四年 蝶良 寧々

芳賀南小学校四年 土井 大翼

芳賀中学校一年 鈴木 菜緒

芳賀中学校一年 田中 葉

芳賀中学校二年 手塚 千裕

芳賀中学校三年 阿久津舞衣



出席された受賞者の皆さん

平成31年3月9日(土)

(於) 公民館大会にて表彰

編集後記

今年はインフルエンザが大流行！心配していたら、次は花粉症の季節です。日々の早さを感じる今日この頃です。

第19号「かがやき」の発行にあたり、原稿をお寄せくださり、心より感謝申し上げます。つどいや各研修に毎回様々な事を深く考えさせられています。本誌を読んで皆様の一考の参考になれば幸いです。

編集委員

荒井美代子 小山 佳子
石下 篤子 齋藤 芳子
小林 久子 人見 章子
小林 峰子 廣木 初江

印刷 株式会社 井上総合印刷
電話 028-661-4723

かがやき

JAはが野芳賀地区女性会



加入団体
活動紹介



ラジオ体操・輪投げ・ボーリングで、楽しく汗を流しました。

主な内容

- 総会
- 町民のつどい
- 研修(視察・会員)
- 日本女性会議
- ジェンダー川柳コンクール

芳賀町女性団体連絡協議会の大きな柱として男女共同参画の推進があり、平成27年3月14日に宣言をしてから早4年となりました。

今年の研修では、女性起業家に学ぶと題し(株)升智の布瀬智子社長の講演に、夢を持ち目標に向かい続ける大変さと大切さを感じました。又、今年で7回目を数えるジェンダー川柳コンクールに於いても、人としてお互いを大切に思い尊重する心を育てる事を改めて認識する上で、今後も回を重ね『続ける』事が意味のある事だと感じています。

一人一人の実力が生かされる世の中を目指し、小さな一歩でも『日々前進』しましょう。

副会長



会長
小山 佳子

一年をふりかえって

平成 30 年度も皆様に支えていただき、残る事業も総会のみとなりました。役員の皆様、行政の皆様をはじめいろいろな形で関わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

ここ数年、自分の中で防災について学ぶことを心がけてきました。2011 年、東日本大震災があり、防災に対する意識が高まりましたが、穏やかな日々が続くと気持ちが落ち着いてしまうなど感じていた時に、2016 年熊本で大きな地震が起こりました。やはり気持ちを途切れさせてはいけないと思い、学ぶ機会を増やしてきました。

かがやく町民のつどいで「防災まちカフェ」を実施出来た事は本当にありがたい事と感謝しています。防災についてはこれが一番というものはありません。これからもいろんな視点から、立場から見た防災というものを学んでいこうと考えています。「防災まちカフェ」のアンケートでもたくさんのご意見をいただきました。女性団体連絡協議会としても、何ができるかを模索していきたいと思っています。

平成 30 年度 芳賀町女性団体連絡協議会総会

5 月 23 日(水)町民会館において、古塚教育長、石川議長、高津生涯学習課長のご臨席をいただき総会が開催されました。芳賀町農村生活研究グループ協議会の綱川みね子さんを議長に、円滑な議事進行で無事終了しました。本年は役員改選があり、新しいメンバーも加わり、新たな気持ちで出発しました。

総会終了後、「日本女性会議」について、芳賀つばさの会の小林久子さんと町外からの 3 名にご協力をいただき、「日本女性会議 in 佐野」に向けて研修報告会が行われました。



綱川さん



新役員

平成 30、31 年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名
会長	小山 佳子	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
副会長	小林 久子	芳賀つばさの会
"	石下 篤子	J A はが野芳賀地区女性会
書記	小林 峰子	芳賀町農村生活研究グループ協議会
"	小林 知明	事務局
会計	増渕さつき	芳賀くらしの会
"	山崎ひろ子	芳賀つばさの会
理事	菊地富士子	J A はが野芳賀地区女性会
"	荒井美代子	J A はが野芳賀地区女性会
"	福田 純子	芳賀町ひばりの会
"	齋藤 芳子	芳賀町ひばりの会
"	関 優子	芳賀くらしの会
"	梅澤 知江	芳賀町農村生活研究グループ協議会
"	綱川まゆみ	芳賀町農村生活研究グループ協議会
"	岩松みち子	芳賀つばさの会
"	人見 章子	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
"	小林ゆかり	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
監査理事	廣木 初江	芳賀くらしの会
"	大根田理子	芳賀町ひばりの会



共に活動しませんか

女性団体連絡協議会では加入団体を募集しています。また、それぞれの団体では会員を募っています。他の団体と交流することにより見聞を広げるばかりでなく、語り合える仲間に出会えるはずです。町や県の行事や講演会に参加し、社会の動きを感じることもあります。

一緒に輝きましょう。

問い合わせ 芳賀町生涯学習課
TEL 028-677-0009



(株)升智 社長
布瀬智子さん

視察研修

女性企業家に学ぶ研修会

常陸国出雲大社参拝

平成 30 年 10 月 17 日

芳賀町ひばりの会 齋藤 芳子

女性起業家に学ぶ会として、栃木から全国に、ジェラートを通して笑顔と感動を届けられた(株)「升智」社長布瀬智子さんの御講話をお聞きしました。若くてとても素敵な方だと思わせて頂いたのが第一印象でした。酪農家に育ち 19 歳でジェラート事業部門を立ち上げられ全国にジェラートを広め、日本最高のジェラート職人として成功を収められた経緯と成功への道のり、さらに家族や地域との関わり方や商品開発への情熱などをお話くださり、とても興味深く聞かせて頂きました。『社長の成長が会社の成長である』と自らの成長への学びを惜しまずされ、従業員はすべて女性を登用し、きめ細やかな感覚と母性愛を活かした製品作りをされておられます。又食べたくなるあのジェラートのやさしい味は、そこから醸し出された愛の結晶だと思わせて頂きました。人間力が一番大事ですと、心を大切にされておられる社長の人間性の素晴らしさを感じさせて頂きました。心が温くなり、元気にならせて頂いた研修でした。素晴らしい出会いをさせて頂く事ができました。



常陸国出雲大社

芳賀つばさの会 綱川みね子

今回の研修会は、株式会社 升智 ブランド名「ジェラート マスモ」社長布瀬智子さんの講話でした。初めに気を引かれたのは、布施さんの美しさと目の前に配られたジェラートでした。今まで見てきたジェラートと違って果肉がそのまま入っていて「早く食べてみたい」と思わせるものでした。講話を聞きながら食べたジェラートは、あっさりとしていてとてもおいしかったです。

会社立ち上げの経緯から、オープン、移動販売車の導入、販売高、マスモの強みや弱みなど興味を引く話を聞くことができました。高品質の牛乳に恵まれていることやグレードの高さなどが強みという反面、手作りで手間がかかって生産力が上がらないことや、若い従業員が多いため社員教育に時間がかかるということが弱みなのだそうです。また、販路拡大や商品開発などについても事細かく説明してくれました。話を聞くうちに、ぜひまた食べてみたいと思いました。数日後の陶器市で、再び食べる機会に恵まれました。



道の駅ましこ研修室にて



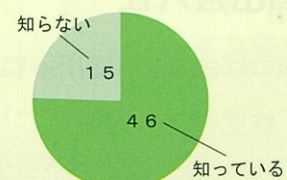
講師 かもんまゆ氏

プロフィール

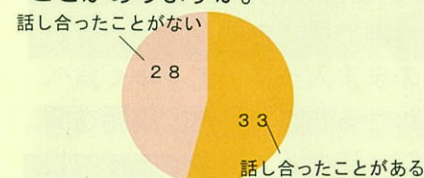
(一社)スマートサバイバープロジェクト特別講師。東日本大震災の際、被災地のママと子どもたちへの物資支援を機に、ママのための防災ブックを企画制作。2019年1月現在、全国220か所で乳幼児ママ向け防災講座「防災ママカフェ®」を開催、14,500人以上が参加。NHK教育「すくすく子育て」等メディア出演多数。

アンケートから (61人回収)

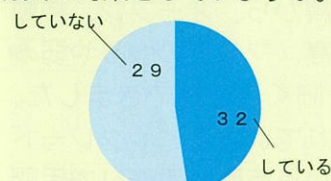
①自分が行く避難所を知っていますか。



②防災について家族で話し合ったことがありますか。



③防災の対策をしていますか。



④避難生活をするときに不安に思うことは？

- ・安全の確保
- ・プライバシーの確保
- ・食料等の調達
- ・水・飲料水の調達
- ・必要で正しい情報収集
- ・家族・身内との連絡
- ・避難経路の安全
- ・子どものストレス
- ・通り抜けられない団地の出入り
- ・衛生面、健康面 (体調の維持)

芳賀町女性団体連絡協議会 かがやく町民のつどい 防災まちカフェ in 芳賀

～私たちのできること～



わたしたちができること

(1) 敵を知る

①自分の家の周りで何が起こるのかを知る。

＊五大ハザードマップを手に入れる

●地震 ●津波 ●浸水 ●土砂災害 ●液状化

②住んでいる土地の成り立ちを知る。地盤や地形などについて知っておく。

(2) 自分を知る

③家族の「ウイークポイント (弱点)」を探す。

④境遇が似ている人の体験談を読み、被災後10日間をリアルにシュミレーションする。

(3) 準備する

⑤ハード面

「家族が安心できる」防災リュックや備蓄を用意する。

⑥ソフト面

子どもにも自分の命は自分で守る方法を教えておく。

平成31年2月24日(日)

芳賀町農業者
トレーニングセンター



見目町長

平成29年度芳賀町の
避難所にある備蓄品 (食料)
(一部平成30年度に補充)

飲料水	500ml	3961箱
飲料水	2000ml	24箱
カロリーメイト		480箱
アルファ米		2600箱
リッツS缶		160箱
カンパン (段ボール入り)		360箱
ルヴァン		240箱
パン缶詰		288箱

「まさか」と「想定外」は禁句!

「まずは、自分の命を守ること。命がなければ、どんな防災グッズを用意しても、備蓄品を準備しても役に立たない。そして、何より子どもや家族を守れない。」と実際に被災されたママ達の生の声を集め、災害が起こる前に何が必要で、どんなことをすれば良いのかを具体的にわかりやすくお話してくださいました。

自然は私達に恩恵も与えてくれますが、同じように大きな災害をもたらすこともあります。

必ずくる災害に、しっかり準備し、心にも体にも余裕を持って対応していきたいと深く思い知らされた講演でした。

おすすめ本



ポプラ社



双葉社



日本女性会議 2018in 金沢

Japan Women's Conference
2018 in Kanazawa

たたえようこれまでの道
彩ろう未知なる明日



平成 30 年 10 月 12 日(金)～ 14 日(日)

会場 金沢歌劇座 他

家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
阿久津ふみ子

私は「医療における性差『健康寿命延伸における性差を考える』」の分科会に参加し、妊娠前ケアから医療介護までを性差の視点から生物学的特性について学びました。メンズヘルスでは、特に男性ホルモンテストストロンのお話は新鮮で男性を理解する重要な鍵になると知り、男女がより良い関係を築くには相手の性について医学的に知ること大切と認識を深めました。そして、少子高齢化時代に健康寿命を延ばすには、生活習慣と血流を良くすることが要であると拝聴しました。

次に、高齢者福祉をライフワークにしてきた講師からは「温かい心こそ介護の原点」を充分に感じさせて頂く長年の取り組みを母娘でアットホームに伝えて頂きました。

金沢素囃子で幕開けた今大会は、全体会も素晴らしいもので伝統・芸能・歴史・食文化等々多様な金沢を肌で感じた充実した研修でした。

家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
山本 克子

「日本女性会議 in 金沢」は、小鼓の柔らかな音を響かせ「金沢素囃子保存会・杵望会」による「連獅子」で幕を開けました。

分科会は「貧困と子どもの権利」に参加しました。子どもの今と未来について、また、豊かな成長を保障するためには、子どもを社会の宝にとどめず、社会の一員として子どもの力を信頼する事、子どもを否定せず、親子共に自己肯定感を育む事が大切とのお話でした。

記念講演では、宝生流能楽師 松田若子さんによる「能の道を歩む～私の生きがい～」と題し、男性主導の能楽界におけるご自身の歩みなどをお話いただき、歴史と伝統文化が息づく金沢ならではの魅力を感じると共に、男女共同参加を考える実り多い大会でした。



金沢素囃子

お知らせ

日本女性会議
2019 年
10.25 (金)～ 10.27 (日)
佐野 開催です
皆さん参加しましょう!!



左から山本さん、小山さん、阿久津さん

研修

講話「DV相談と支援の実際」

平成 30 年 11 月 29 日(木) 町民会館研修室

講師：認定特定非営利活動法人 ウイメンズハウスとちぎ

理事長 中村 明美 氏

代表 丸山 文子 氏

理解が進まない DV。
表面化しにくい DV。
私たちはどうしたらいいの？

ーこの研修会での感想をお寄せ頂きました。ー

ドメスティックバイオレンスから 女性を守る活動

芳賀町農村生活研究グループ協議会 梅澤 知江

11 月 29 日「ウイメンズハウス」の中村さん、丸山さんのお話を聞きました。

「ウイメンズハウス」とは、DV(ドメスティックバイオレンス)を受けている女性のための相談・支援活動などを行っている、宇都宮にある団体です。

DV というと、ニュースで耳にすることはありますが、あまり身近でない様な気がします。ところが、実際に、女性の 3 人に 1 人が同居するパートナーから暴力を受け、そのうちの 7 人に 1 人が「命の危険を感じたことがある」そうです。

DV は、とてもデリケートな問題です。私達の身近な人も、もしかしたら、DV を受けているかもしれません。中には、じっと耐えるしかできない人がいるかもしれません。より深刻になる前にこういった所に相談してほしいです。「ウイメンズハウス」の方々は、被害を受けた人が「相談して良かった」と思える支援をしたいと日々活動しているそうです。

～DV相談と支援の実際～

芳賀くらしの会 増淵さつき

DV とは配偶者や同棲する恋人などの親密な関係の中で起きる暴力をいいます。DV について自分とは関係ないと思っている方にとって、女性の 4 人に 1 人が暴力を受け女性の 10 人に 1 人が継続的で執拗な暴力を受け、3 日に 1 人、妻が夫に殺されているという事実には少なからずショックを受けたことと思います。DV のない社会をめざすためには、無関心ではられません。

民間シェルターとして平成 8 年にスタートしその後、認定 NPO として活動している「ウイメンズハウスとちぎ」代表を講師に迎え、被害者のために私たちができることを研修しました。児童虐待の背景には DV が隠されているともいわれています。

女性や子どもが安全に暮らせる社会のために、DV の構造を知り、二次被害をなくしたいものです。「あなたは悪くない」「相談するところがあるよ」と伝えましょう。



『ウイメンズハウスとちぎ』からのお願い

ウイメンズハウスとちぎは皆様の寄付などで活動しています。どうぞご理解の上、ご協力をお願い致します。

個人	正会員	10	5,000 円
	賛助会員	10	3,000 円
団体	正会員	10	20,000 円
	賛助会員	10	10,000 円
寄付・カンパ		随時	

郵便振替 口座番号：00130 - 1 - 401935

加入名：ウイメンズハウスとちぎ

秘密は守ります 相談は無料です

TEL・FAX 028-621-9993

事務局	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
電話相談	午前9時～午後5時
面接相談	午前10時～午後4時(要予約)

ウイメンズハウスとちぎ通信より